

【職業実践力育成プログラム（BP）とは】

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な大学院のカリキュラムです。大学院での受講・履修を通じて社会人の職業能力の向上を図ることを目的として、文部科学大臣が認定しています。医療福祉情報学専攻では、病院経営に関し現場に近い視点での教育を行うこととしてBPに認定されています。

【医療福祉情報学専攻におけるBPについて】

本専攻では、病院の経営戦略立案に関する研究、医療関連領域の新たなビジネスモデルの構築と事業化への研究、医療における情報とデータサイエンスを医療経営に利用する研究を行なっています。BPコースの学生は、事務管理系人材だけでなく看護管理系人材、薬剤部門、リハビリテーション部門などとしています。また、修了後のキャリアパスについては、病院における経営幹部や起業することを想定しています。

BPコース履修については、条件を満たせば専門実践教育訓練給付金の支給（年間上限48万円）が支給されます。

また、毎年公開講座も開催しております。写真は今年度の公開講座（2019年10月26日開催）の様子です。

